

ほとんどの武将の城内には庭園があったが、織田信長（1534－1582）の岐阜城にも装飾された観賞用庭園もあった。城の敷地の最近の発掘調査によって、考古学者は庭の池底に並べられたと思われる岩や色鮮やかな石を発見した。考古学者たちは更に、金箔で覆われた屋根瓦の破片も発見した。庭園の様子はポルトガルの宣教師ルイス・フロイス（1532－1597）の岐阜城に関する報告と一致している。